特集

みんなで暮らしやすいまちに

～多文化共生のまちづくりに向けて～

SDGs 10 人や国の不平等をなくそう

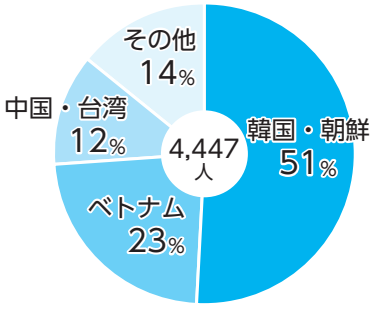
国際課多文化共生推進室 ☎231-9653

多文化共生とは、国籍や民族の異なる人々が、互いの文化の違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、共に生きていくことです。

日本では、少子高齢化により、人口が減少しています。一方、人手不足解消のため、外国人労働者の受け入れを拡大するなどの国の施策で外国人が増えています。

下関市にも、水産加工業などの産業を支える貴重な人材として、技能実習生が多く来日し、市内で生活する外国人住民は増えています。

共に下関で暮らす住民として、暮らしやすいまちにするにはどうすれば良いか、さまざまな取り組みを踏まえてご紹介します。



市内の国籍別外国人住民数
（2020年9月末現在）

Citizen's voice ～多文化共生アンケートより～

外国人の声

- ○日本人と一緒に紅葉狩りや、ボランティア活動に参加できるイベントの開催を！
- ○お知らせ文章などの日本語が難しい。
- ○外国人に役立つ情報の周知を。病院や医療情報が不足している。
- ○外国人同士の交流会などがあれば。

日本人の声

- ○外国人住民の受け入れが増え、住み慣れた生活環境が変わっていくのが不安。
- ○市や日本の経済も支えてくれる貴重な人材に対して、きちんと支援をしてあげることは大切。
- ○下関での習慣、生活ルールなどを説明し、お互いの言葉や文化の共有を。

水産加工技術の習得のために海外から下関へ

下関市彦島の西端に、全国で唯一のふく専門の卸売市場「南風泊市場」があります。市場のある彦島西山地区には水産加工団地があり、ここからふくをはじめ、魚の加工品などが海外や国内各地に届けられています。

この彦島西山地区にあるヤマモ水産では、中国からの実習生7人が、下関の水産加工技術を学んでいます。

実習生の1人、郭建峰（かくけんほう）さんは、2019年に中国から来日。日本に来る前は、水産加工会社で働いたり、小さな屋台を出したりしていました。

中国ではふく食・流通が一時期禁止されていましたが、最近になって一部解禁されました。そこで、郭さんは「中国でたくさんふくが食べられるようになるのでは」と思い、**ふく加工の本場である下関での実習を希望**しました。「加工技術を身に着け、母国に貢献したいと思っています」

会社や下関に貢献したい

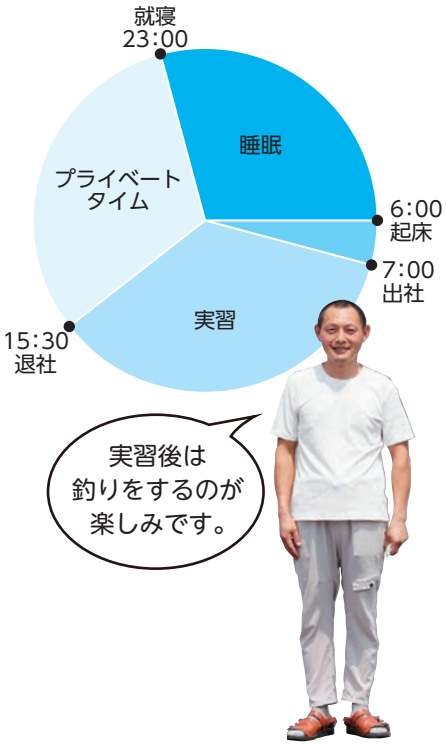
郭さんが実習をしている会社では、ふくを刺身にしたり、いろいろな魚を加工したりしています。

郭さんの毎日の仕事は、あらかじめ作った実習計画に基づいて行われます。毎日決まったことではなく、さまざまな仕事に携わっています。

今は、**どんな作業の時にどのような包丁を使うか、どのように魚をさばくかといったことや、魚の塩蔵の仕方などを勉強**しています。

郭さんに実習の感想を伺いました。「日本人の仕事に対する真剣さや、みんなが団結して協力し合う姿勢が素晴らしいと思いました。文化は違っても共通のことはあります。言葉が十分でなくても、気持ちは伝わっている、心も通っていると思います。今、会社で困っていることはありません。気がかりなのは、**コロナで後輩が日本に入国できなくなった**ことです。一方で日本から出国した実習生がいるので、人が少なくなりました。下関のふぐを全国の消費者へ届けられるか個人的に心配です。実習が終わるときが近づいてきました。最後に、**会社や下関に貢献して、3年間の実習を成功裏に終わらせたい**と思っています」

郭さんの1日



下関で良い思い出をつくってほしい。

❶実習生の集い。家族に会えない寂しさを紛らわすことができればと、旧正月に合わせて毎年、下関食品流通協同組合が開催。会社ごとに実習生が出し物をします。西山町自治会の皆さんも、日本舞踊を踊ってくださいました。 ❷前西山町自治会長の加納政二さん。海外で働いているとき、地元の祭りなどに誘ってもらったそうです。 ❸トリコロキューブ。西山町自治会のみなさんと実習生が一緒になってゲームを楽しみます。

実習生と平家踊りを

彦島西山町自治会には約1120世帯が加入しています。企業会員は64社で、そのうち約3割の会社に技能実習生がいます。

ある日、実習生をサポートしている下関食品流通協同組合の翟（よう）さんから「外国人に日本語を教えてもらえないか」と自治会に相談がありました。

当時自治会長をしていた加納さんは、水産加工業の仕事で中国やベトナムに行っていた経験から**「日本語は教えられないが、地元の人と交流し、実習生が祖国に帰るときに良い思い出を持って帰ってもらいたい」**と思ったそうです。

自治会内で協議し、婦人部が中心となり、実習生の世話人委員会が発足。「話し合いの中で、西山地区の祭りに出てもらってはどうかという案が出ました。それから、実習生に会い、**平家踊りの練習を始め、祭りに出てもらった**のが交流の始まりです」

交流から生まれたもの

「実習生のごみ出しがうまくいっていない、自転車の乗り方のマナーが悪い」という苦情があったので、祭りの次は**ごみの出し方や自転車の乗り方の講習**です。

当初実習生は、住民から「マナーが悪い」という目で見られていましたが、交流をして断然変わってきました。

町内の一斉清掃では、実習生が参加してくれ、**住民と一緒に汗をかき、ふれあいが生まれました。**

国勢調査のときも、どこにどんな実習生がいるか把握できていたので、調査がスムーズに進みました。

「今は実習生と住民のトラブルのようなことはまったくありません。実習生はあいさつもよくしてくれます。実習生から『**下関に来てよかった**』と思ってもらえるのが一番です。これからも交流をしていきたいです」と加納さんは笑顔で話します。

＼ サポートする立場から ／　下関食品流通協同組合 翟（よう） 淑君（しゅくくん） さん

下関食品流通協同組合は、下関市で中国人やベトナム人の技能実習生の受け入れをサポートしています。

技能実習生は生活の面での不自由がたくさんあります。

私たちもサポートしていますが、市民の皆さんも、ぜひ**外国人に温かい言葉をかけてあげてください。**私は中国人ですが、一人で子どもを抱えて不安なとき、日本人に声をかけてもらって温かい気持ちになりました。

行政には、実習生と市民との交流を取り次いでほしいと思っています。

Multicultural coexistence

みんなで暮らしやすいまちに

多文化共生フォーラムしものせき

市の取り組み

今年3月、市では「多文化共生・国際交流推進計画」を策定しました。この計画の取り組みの一つ「市民に対する多文化共生の意識啓発・醸成」のため、6月には多文化共生フォーラムを開催しました。今後も、**外国人住民に対するコミュニケーションや生活の支援、外国人住民の地域社会へ参画促進と多様性を活用した地域の魅力創出**に取り組んでいきます。

外国人住民も市民の一員

下関市国際課の白野主任に伺いました。「外国人を温かい目で住民として受け入れてほしいと思います。外国人とコミュニケーションを取るとき、外国語でなくてもかまいません。**やさしい日本語**をぜひ使ってください。**自分ごととして、外国人に市民として接し、交流してほしい**と思います。そのことが、**市民みんなが暮らしやすい、外国人にも選ばれるまちづくりにつながる**と思います」

＼ 民間での取り組み ／

■しものせき国際交流ねっと

講座や料理を通して、互いの国の文化習慣を知り、より安心して暮らせる地域づくりを目指しています。

問石井由利子さん　☎ 090-2000-6521

■にほんご多文化ひろば

外国人を支援したい人のための勉強会と、外国人のための日本語教室を月に一度開催しています。

問當房詠子さん　☎ 080-3874-5404

■外国人に日本語を教える会

学習者がレベルに応じたクラスで日本語を学び、コミュニティの一員となるように支援しています。

問杉原賢治さん　☎ 090-5706-2503

外国人は、国ごとにコミュニティをつくろうとするので、もっと日本人から話しかけたり交流したりしてほしいと思います。外国人が日本語をうまく話せなくても、**しっかり聞いて、ゆっくり話してあげましょう**。外国人の皆さんが、１人でも多く会に参加されるのを願っています。

外国人に日本語を教える会
代表 **杉原賢治** さん

「やさしい日本語」を共通語に

「やさしい日本語」とは、簡単な言葉や文法を使って、普段使われている日本語を外国人にもわかりやすく伝えられるよう書き換えた日本語のことです。

【ルール】
- 主語と述語を明確に１文で短く
- 漢字熟語や外来語を避ける
- 二重否定を使わない
- 漢字にふりがなをふる　など

【例】
- 土足厳禁です→くつをぬいでください
- 公共交通機関でお越しください
  →バスか電車で来てください
- キャンセルしますか？→やめますか？

下関市多文化共生・国際交流推進計画

基本理念「多文化共生が拓（ひら）く下関市の未来」

これまで、市では防災教室やごみ出しの多言語カレンダー作成など、外国人が住みやすいまちづくりに取り組んできました。
今年3月、近年の技能実習生や留学生の増加を背景に、これまでの国際化施策に「多文化共生」の視点を加えた計画を策定しました。
以下の３つの基本目標のもと、日本人も外国人も暮らしやすい地域づくりを推進していきます。

【基本目標】
❶国際化に対応した人材育成
❷国際交流の促進
❸多文化共生のまちづくり

◀詳しくは
QRコードから